

## 2013年度 生薬学1実習 武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園の見学会

実施日：2013年10月26日（土）

場所：京都府京都市左京区一乗寺竹之内町11 武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園

対象：大阪薬科大学「生薬学1」履修者および関西大学化学生命工学部「生薬学1」履修者  
の中の実習希望者

担当者：芝野真喜雄 准教授

大阪薬科大学の「生薬学1」の履修者向けに一週間をかけて実施される京都薬用植物園の見学会が、今年度も関西大学の履修者に向けても実施されました。関西大学では昨年度の受講生から参加しています。大型台風の日本接近と重なる週であったため、天候が心配されましたが、小降りが少しあった程度で実施に支障はありませんでした。

京都薬用植物園の講堂内にて今村芳功 園長より施設の概要や活動についてのお話がありました。京都薬用植物園は通常は一般公開はしていないこと、医療系大学の教員向けの専門教育や、小学生向けの薬学教育活動だけでなく、生物多様性の保全活動などにも取り組まれているとのことでした。医師の8割以上が漢方処方経験があり、

薬剤師の現場では漢方薬の比重が想像以上に大きいなどのお話がありました。武田薬品は漢方を主に扱っていないのにこうした薬用植物園を維持する理由として、多くの薬の源流には植物があるという考えがあるためとのことでした。



最初に小班に別れ、ハーブ類のエリア、作用性の強い植物のあるエリア、水生植物のエリア、漢方処方園、展示棟の順に見学しました。各エリアでは武田薬品の職員の方が担当に付いてくださり、薬用植物の説明とそれに含まれる主要な有効成分について、記憶するインプットよりもアウトプットが大事だということで次々と受講生に質問をされていました。

最初のエリアでは、国内の希少種やヨーロッパの薬用ハーブ類のエリアを見学しました。世界一辛い唐辛子の品種などがありました。オタネニンジンはこの季節は葉が落ちていました。砂糖の代替甘味料のステビアなどを口に含んで味わいました。厳重な金網の中では紫色の花の咲いたトリカブト、チョウセンアサガオなどを観察しました。





水生植物のエリアでは蓮や川骨を観察しました。また杏仁豆腐に添えられるクコを生で味わいました。本来は砂漠に近い環境で育つ植物という麻黄の葉のない実物を観察できました。華岡青洲の紫雲膏の生薬に含まれる絶滅危惧種のムラサキの植生も観察することができました。ウコン、春ウコン、ガジュツなども地上部と掘り起こされた根茎内部の断面などが観察できました。







漢方処方園のエリアでは漢方薬に含まれる生薬の元となる生きた植物が揃えて植えられており、ひと目で処方を理解できる構成になっていました。職員の方からは「生薬学1」の講義でも取り上げられた生薬の主要な有効成分について質問などもありました。最初の建物の方に戻り、その側に植えているプラタナスの巨木がギリシアから取り寄せたヒポクラテスの木（プラタナスの木陰で医学を講義）のクローンとのことでした。





阪神大震災のときに被災した貴重な洋館を保存のために移築した建物内で刻みの植物生薬、動物生薬、漢方の器具類について今村園長直々の案内で見学しました。入り口の正面にはタケダ漢方便秘薬に含まれる信州大黄の大型標本が飾られていました。この緩下薬の緩下作用は大黄に含まれるタンニンが有効成分のセンノシドの働きを抑えるため、タンニンが含まれないセンナの方が下剤として作用が強いなどのお話がありました。伝説のニコーンのモデルとなったイッカクの牙にも触ることができました。





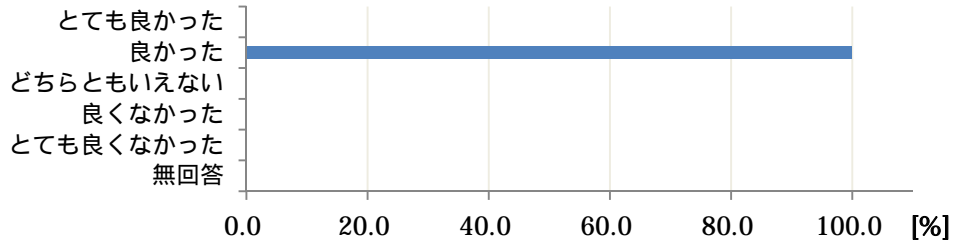
最初の建物内に戻り、煎じられた漢方薬をいただきました。生ハツ橋と同じ香りのする桂枝湯と、こむら返りにすぐ効くという芍薬甘草湯が用意されていました。休日中にも関わらず、担当していただいた武田薬品株式会社 京都薬用植物園の職員の方々に深く感謝致します。



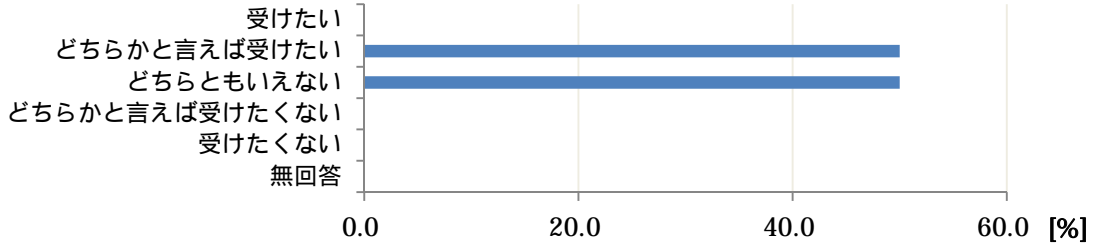


# 2013年度 生薬学1 実習アンケート

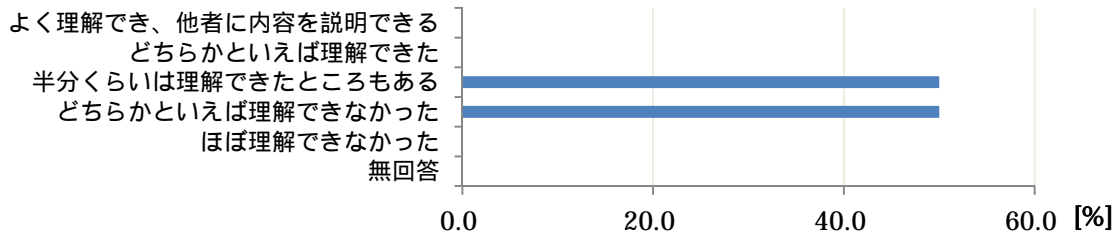
## 問1. 今回の実習はどうでしたか？



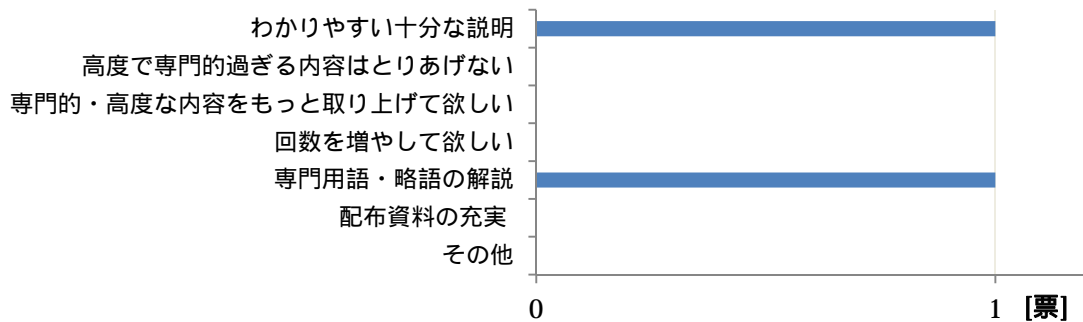
## 問2. このような実習のある授業をまた受けてみたいですか？



## 問3. 今回の実習の内容は理解できましたか？



## 問4. 今後の実習で要望があればあてはまるもの全てを選択して下さい



---

## 問6. 今回の実習で何が一番印象に残りましたか？

---

- ・ イッカクジュウの一角の重さ、薬用植物にも色々和使用目的がある事
  - ・ イッカクの牙、オランダセンニチ
- 

---

## 問7. 感想・質問などがあればお書きください。

---

- ・ めったにできない体験をする事ができた。
-